



しあわせ感じる学校

校長 伊藤 栄司

春陽麗和の好季節、今年も51名の新一年生を迎え令和7年度の教育活動が始まりました。入学・進学を祝うと共に、全校356名の児童が大きく伸びる1年といたします。

ウエルビーイングの向上

令和5（2023年）年6月に閣議決定された教育振興基本計画では、2040年以降の社会を見据えた総合的な基本方針として「日本社会に根差したウエルビーイングの向上」を掲げています。ウエルビーイングは、あまり聞きなれない言葉だと思いますが、OECD（経済協力開発機構）やWHO（世界保健機関）等で目標に掲げられていて、一人一人の生き方や暮らし方生活環境の側面に光を当てた考え方です。

日本語訳では適切な言葉がないため、一般的には「幸福感」や「幸福度」と訳されています。しかし、ウエルビーイングには、心理的な幸福感にとどまらず健康の増進、一人一人のやりがいや生きがい、充実感、自己実現といった人として大切にしたい本質的な意味が含まれています。

今年度の教育目標はこのウエルビーイングの考え方を受け、「明るく強くたくましく思いやりをもって未来を創る人」とし、サブテーマとして～一人一人がしあわせ感じる小学校～としました。

身に付けさせたい資質・能力の明確化

① 明るい子【知性的ウエルビーイング】

子どもたちが知的好奇心を満たし、楽しく学習に取り組んでいる様子が見られるような授業をめざします。具体的には学年の発達段階に応じてエージェンシー（自分で目標を設定し、調べ解決した後振り返り次の学習に活かす力）を育むとともに、自力解決できるだけの基礎的な知識や技能を並行して指導していきます。

② 強くたくましい子【身体のウエルビーイング】

健康に気をつけながら進んで運動に取り組み、体力を高めることができる児童を育てます。心も体も健康に過ごすことがウエルビーイングの向上につながるので、基本的な「早寝・早起き・朝ごはん」や自ら運動を生活に取り入れる姿など、基本的な生活習慣を身に付けることができるようご家庭とも連携し指導していきます。また、家庭では十分な休養をとり学校生活とのバランス（スクールライフバランス）が上手くとれるようご協力をお願いします。

③ 思いやりをもつ子【人間関係のウエルビーイング】

集団生活の中で、互いに大切に思い合えるような関係ができていることがウエルビーイングの向上につながります。「友達のために力を尽くすこと」や「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えるを通して、豊かな人間関係をつくります。そのためには、「挨拶・返事・後始末」丁寧な言葉遣いなどの基礎基本を習慣づけることができるよう指導していきます。

しあわせ感

それぞれのウエルビーイングに共通していることは、自ら行動することです。誰かに何かをしてもらう受け身の行動ではなく、自ら行動し良い結果を得ることで充実感や幸福感へとつながると考えます。また、たとえ、良い結果ではなかったとしても自分で考え行動したのだから、次はどのように改善すれば良いかが見えてきます。ウエルビーイングの向上により、一人一人が「しあわせ」を感じる小学校をめざす1年とします。保護者・地域の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いします。